

見て聞いて学ぶ紫式部の日

紫式部と南越前町

参加
無料

開催日 2024年9月29日(日)

会場 今庄住民センター(南越前町今庄 84-25)

【第1部】紫式部ゆかりの地巡りバスツアー

時間:午前8時45分~10時45分(受付午前8時30分~)
場所:今庄住民センター駐車場発着
内容:「ふくい歴女の会」会長で、コミック版日本の歴史「紫式部」の原作者である後藤ひろみ氏と、南越前町の紫式部ゆかりの地をバスで巡ります。
定員:40名(要申込み)



【第2部】後藤ひろみ氏 講演会

演題:「紫式部と南越前町 その人生とつながりをたどる」
時間:午前11時~12時
場所:今庄住民センター 大ホール
定員:150名(要申込み)

【プロフィール】

2010年に「ふくい歴女の会」を結成。2014年には福井県立歴史博物館内に「ときめぐる、カフェ。」をオープン。コミック版日本の歴史「紫式部」等の原作を担当し、多くのシンポジウム等にパネリストとして出演。昨年8月に県内の歴史を新たな観光資源として発信する「県歴史コーディネーター」に就任。



福井県提供

【第3部】講談師 四代目玉田玉秀齋 講談会

演題:「紫式部が見た越前」
時間:午後1時30分~3時
場所:今庄住民センター 大ホール
定員:150名(要申込み)

【プロフィール】

幕末、京都を拠点に活躍した神道講釈師・玉田永教の流れを汲む玉田家の四代目。玉田家は『猿飛佐助』『霧隠才蔵』『真田十勇士』『菅原天神記』『安倍晴明伝』などを世に広めた一門。当代・玉秀齋はロータリー交換留学生としてスウェーデンに留学中、逆に日本に興味を持ち、2001年、四代目・旭堂南陵へ入門。2016年、四代目・玉秀齋を襲名。現在、三重大学大学院にて忍者を研究中。



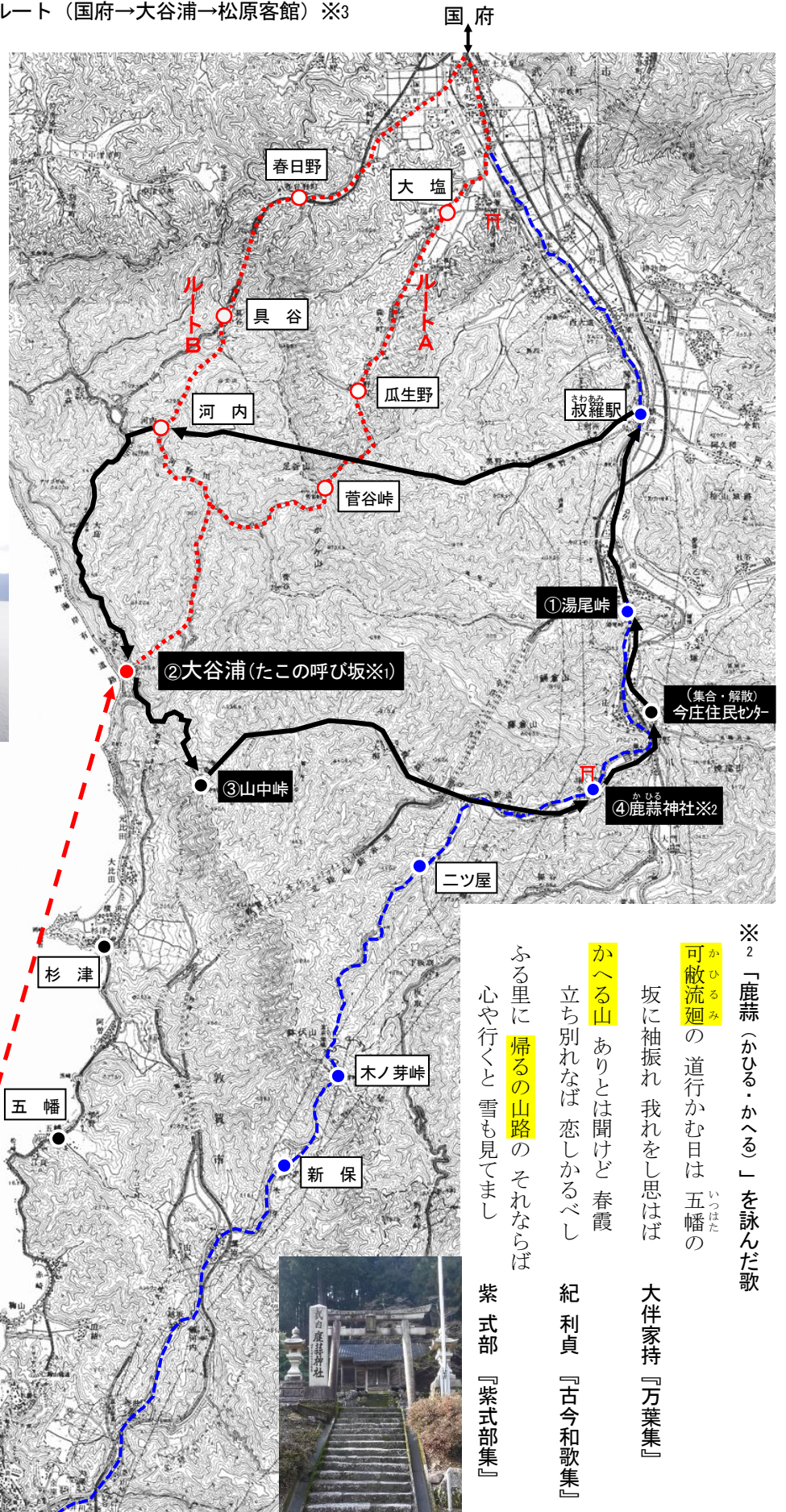
申込方法 南越前町教育委員会へ電話にてお申込みください。 TEL:0778-47-8005

申込締切 令和6年9月13日(金) 各部とも定員に達し次第締め切りとさせていただきます

→ **紫式部ゆかりの地巡りバスツアー予定地** 今庄住民センター ⇒ ①湯尾峠 ⇒ ②たこの呼び坂 ⇒ ③山中峠 ⇒ ④鹿蒜神社

--- 長徳2(996)年 越前国司の下向ルート(木ノ芽峠越えの北陸道)

--- 国府から敦賀までの推定ルート(国府→大谷浦→松原客館) ※3



※1 史跡「たこの呼び坂」(南越前町指定文化財)

紫式部は、長徳二(九九六)年、越前国司となつて赴任した父の藤原為時とともに国府(越前市)で一年を過ごした。滞在中に大谷浦から敦賀(松原客館)に渡つたといわれ、『紫式部集』には大谷浦の地名(たこ坂、たこ谷)が登場する次の歌が掲載されている。

ましもなほ 遠方人に 声かはせ

おちかたひと

われ越しわぶる たこの呼坂

よひさか



「たこの呼び坂」から敦賀方面を望む

※2 「鹿蒜(かひる・かへる)」を詠んだ歌
可敷流廻(かひるみ)の道行かむ日は 五幡(いつはた)の
坂に袖振れ 我れをし思はば

かへる山 ありとは聞けど 春霞
立ち別れなば 恋しかるべし
ふる里に 帰るの山路の それならば
心や行くと 雪も見てまし

大伴家持 『万葉集』

紀利貞 『古今和歌集』

紫式部 『紫式部集』



鹿蒜神社